

## 第4学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題（重点項目）	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国語	<p>○話し合い活動では、自分と他者の意見の共通点や相違点を考えながら聞き、それを踏まえて意見を話し合う力を育てる。</p> <p>○段落構成を考えて文章を書くための指導を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動の決まりを児童に伝え、友達の意見をしっかり聞く姿勢を身に付けさせる。</li> <li>友達の意見をメモしながら聞き、その意見に対する自分の考えをもたせるような話し合い活動を日常的に行う。</li> <li>作文構成表を活用するなどの工夫をし、段落分けを意識した作文が書けるようにする。</li> <li>作文を書いた後、文章を読み返すように指導する。</li> </ul>	<p>○決まりを守って話し合いができるようになり、自分の意見を自信をもって発言する児童が増えた。</p> <p>▲友達の意見を素直に聞く姿の育成には課題が残った。</p>
社会	<p>○表やグラフを正しく読み取り、それらを活用して自分の意見を表現できるようにする。</p> <p>○地図帳や副読本などを活用して、地域ごとの産業や工業の違いについて考察できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表やグラフから読み取る活動を日常的に行う。</li> <li>自分の考えをまとめる時間を毎回設定し、話し合いを取り入れ、友達と意見を共有して考えを深められるよう工夫する。</li> <li>地図記号や地形の読み方を具体的に示し、それらを活用して自分の意見をもつような学習活動を取り入れる。</li> <li>過去と現在の東京都の様子を比べ、東京都の変化や伝統などについて考察できるようにする。</li> </ul>	<p>○さまざまな角度から資料を見て、多様な意見をまとめる児童の数が増加した。</p> <p>○「～に比べて」など、複数の資料や項目を活用して、考えを深める児童の姿が見えた。</p> <p>▲調べ学習では、豊富な情報から必要なものを選びまとめる力をつけられるようにする。</p>
算数	<p>○基礎・基本的な計算を素早く、正確に行うことができるようにする。</p> <p>○問題解決の方法を筋道立てて説明できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算ドリルや補充プリントを活用し、正しい計算を素早くすることができるように練習する。</li> <li>児童の思考の流れと対応した板書計画を立て、思考を深められるようにする。</li> <li>図形の学習では、ICT機器やデジタル教科書を児童に活用させ、児童同士で理解を深め合えるような工夫をする。</li> </ul>	<p>○計算ドリルや補充プリントを適宜、活用することで計算力がついてきた。</p> <p>○児童の思考に沿った板書や展開を意識することで、児童が主体的に学習する姿が多く見られるようになった。</p> <p>▲自力解決が難しい児童への手立てをもっと充実させる。</p>
理科	<p>○実験や観察など、体験的な学習を行う。</p> <p>○結果を科学的に思考し、説明する力を育てる。</p> <p>○科学的な記録の仕方を理解し、表現力を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が見通しをもって活動できるような授業計画をたてる。</li> <li>予想や見通しをもって事象を比較検討したり、関係付けたりして調べさせる。</li> <li>実験や観察から得た結果を考察し、自分の言葉で表現させる。</li> <li>問題解決的な思考の流れを表現できるように、ノート指導を行う。</li> </ul>	<p>○予想をしっかり立てさせることで実験の様子を丁寧に観察したり、実験結果から考察を深めたりできた。</p> <p>○実験の結果から分かることを自分の言葉でまとめる力がついてきた。</p> <p>▲安全な活動が行えるよう、実験時の約束を徹底させる。</p>
体育	<p>○友達との教え合い活動を通して、技能のポイントを理解させたり、互いのよさの認め合いをさせたりする。</p> <p>○個々の児童がめあてをもって運動し、活動を振り返ることができるようにする。</p> <p>○体力テストで劣っていた技能や能力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教え合いの観点を示し、ペアやトリオ、チームなどを作り、技能のポイントを互いに意識しながら運動できるようにする。</li> <li>互いのよいところを認め合えるような時間を積極的に設ける。</li> <li>学習の流れをつかみ、めあてを意識して取り組めるよう、「めあて」→「運動」→「振り返り」の流れに沿った学習カードの作成、活用をする。</li> <li>準備運動の一環として、柔軟性や敏捷性を高めるコーディネーション運動を継続的に取り入れる。</li> </ul>	<p>○「チームのために」「友達のために」という言葉を使う児童が増え、チームワークの大切さを感じる児童が増えた。</p> <p>○「～さんの動きがよかった」等、声を掛け合い、友達同士認め合いができるようになった。</p> <p>▲勝敗にこだわり、自分に都合のよいルールの解釈をし、反則などを素直に認められない点は改善できなかった。</p>

<p>総合</p>	<p>○児童自身が課題設定を行い、学習を進められるようにする。 ○多様な方法で調べ学習を進めることにより、調べる力を伸ばせるようにする。 ○それぞれの学習で学んだことを明確にもち、生活に生かそうとする態度を育てる。</p>	<p>・学習の流れを明確に示し、児童が見通しをもって取り組めるようにする。 ・自ら課題を設定し、必要な情報を的確に選ぶことができるように、情報を比較したり分類したり関連付けたりできるようにする。 ・学習カードを工夫して作成し、学習の終末に振り返りをさせ、自分が学んだことや生活へのつながりについて考えられるようにする。</p>	<p>○自分で課題を選ぶことで主体的に調べ学習に取り組める児童が増えた。 ○学習カードを用意することで児童が学習の見通しをしっかりとって活動できた。 ▲調べ学習やまとめに時間がかかり、発表の場を設定できないことがあった。単元計画をもっと綿密に立てていく。</p>
<p>道徳</p>	<p>○主体的に考え、議論しながら学習をすることを通して、道徳性を高める。 ○人に対する思いやりや協力、規則の遵守の心を育てる。</p>	<p>・物語の心情理解のみにならないように、児童の生活につながる題材を取扱い、主体的に話し合い活動ができるようにする。 ・自分の行動を振り返って考えることができるように、発問や資料提示のしかたなどを工夫する。</p>	<p>○児童の生活体験を想起させる発問を取り入れることで、物語の読み取りにならないようにできた。 ○主発問を吟味することで、話し合い活動の時間を十分に確保することができた。 ▲学んだことを自分の生活に生かしていく意識をもう少し高められるようにする。</p>